

「新年のごあいさつ」

公益財団法人 秋田県学校給食会
理事長 七尾 尊志

新年、あけましておめでとうございます。

旧年中は、格別にご支援・ご厚情を賜りまして、心より感謝申し上げます。

昨年、一昨年は新型コロナウイルスによる感染拡大で、学校が臨時休校になったり、学校給食が休止になったりするなど、影響の大きかった年でしたが、ようやくコロナも落ち着き、通常の生活が少しずつ戻ってまいりました。

ただ、コロナとの戦いは終結したわけではなく、今後も続くものと思われま
す。Withコロナ時代の給食会のあり方を追求し、県内の学校給食の実施に
支障を来さないよう業務を進めてまいります。

2022年は寅年です。ことわざに「虎は千里行って千里帰る」とあります。そ
のような勇ましさもいいですが、千里の道も一歩から、一歩一歩着実に前進し
て、穏やかな一年でありますように願っています。

学校給食を取り巻く課題として、地球温暖化による気候変動や農作物への影
響、コロナがもたらした経済活動への影響、それに伴う物価上昇の問題、貧困格
差の拡大、少子化による児童・生徒数の減少、売り上げの減少等、懸念される要
因も多々あり、先行き不透明な時代ですが、時代の流れに適応した新しいスタ
イルを模索しながら、事業を展開してまいりたいと思います。

本会の事業目的の大きな柱の一つに、学校給食への安心・安全、物資の安定的
な供給があります。学校給食の充実と食育の推進は、子どもたちがこれからの
未来を健康でたくましく生き抜くための基盤となるものです。子どもたちが、
毎日の給食の時間を楽しみにして、食を愛し、しっかりと食べて心身共に大き
く成長していけるような学校給食の実現を目指して、今後も取り組んでまい
ります。

秋田県学校給食会の職員一人一人が、おいしそうに給食を食べている子ども
たちの笑顔を思い浮かべながら、「人の役に立ち、人に褒められ、人から必要と
される」ことにより、法人としての信頼がより一層高まるよう、新たな成長を
めざし、職員一丸となって着実に業務を進めてまいります。

最後に、2022年は皆様方にとりまして、新型コロナウイルス感染症も終息し、
自然災害も含め、大過なく平穏に過ごせる良い年になりますことを祈念しまし
て、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も、どうぞよろしく願い申し上げます。